

令和元（2019）年度栃木県内市町等の地方公営企業決算の状況について

栃木県総合政策部市町村課

1 事業数（第1表・第1図）

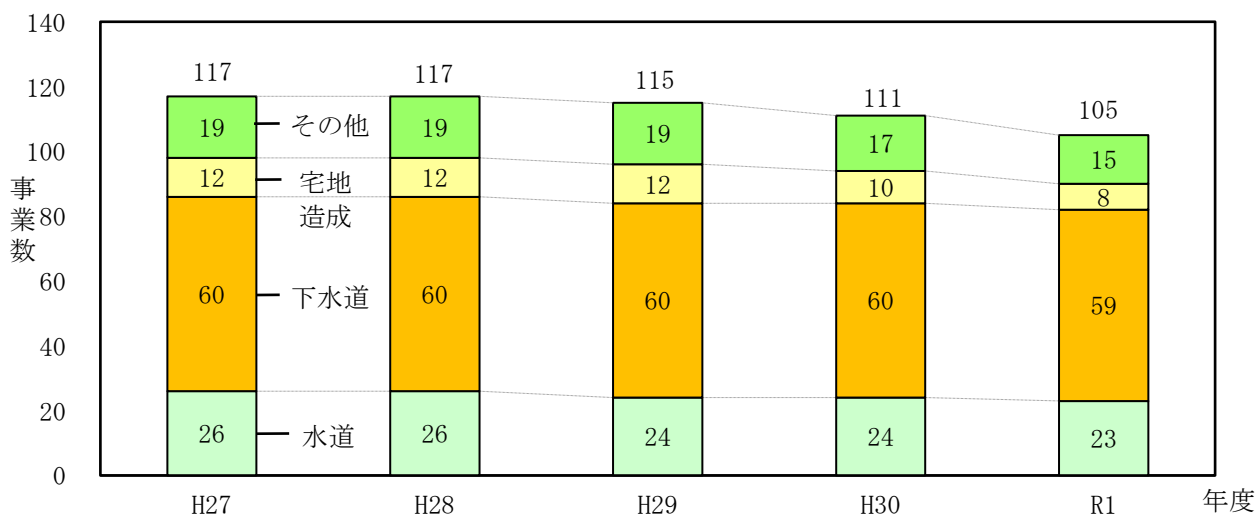
令和元（2019）年度における県内市町等の地方公営企業数は、法適用企業は前年度から10事業増の45事業、法非適用企業は前年度から16事業減の60事業で合計105事業である。この事業数の変化は、事業の廃止、下水道事業の公営企業法適用等によるものである。過去のピークである平成14（2002）年度の189事業と比べると84事業減（▲44.5%）となっている。

なお、事業数の78.1%を上下水道事業が占めている。

第1表 地方公営企業の事業数

項目		H27	H28	H29	H30(A)	構成比	R1(B)	構成比	B-A
法適用	上水道	23	23	23	23	20.7	23	21.9	—
	工業用水道	2	2	2	2	1.8	2	1.9	—
	病院	3	3	3	2	1.8	2	1.9	—
	下水道	2	2	2	7	6.3	17	16.2	10
	市場	1	1	1	1	0.9	1	1.0	—
	小計	31	31	31	35	31.5	45	42.9	10
法非適用	簡易水道	3	3	1	1	0.9	0	0.0	▲1
	下水道	58	58	58	53	47.7	42	40.0	▲11
	市場	6	6	6	5	4.5	4	3.8	▲1
	と畜場	1	1	1	1	0.9	1	1.0	—
	観光施設	3	3	3	3	2.7	3	2.9	—
	宅地造成	12	12	12	10	9.0	8	7.6	▲2
	駐車場	1	1	1	1	0.9	1	1.0	—
	介護サービス	1	1	1	1	0.9	0	0.0	▲1
	電気	1	1	1	1	0.9	1	1.0	—
小計	86	86	84	76	68.5	60	57.1	▲16	
合計	117	117	115	111	100.0	105	100.0	▲6	

第1図 事業数の推移



(注) 水道は、上水道及び簡易水道の計、下水道は、法適用及び法非適用の計である。

2 職員数（第2表・第2図）

令和元(2019)年度末において公営企業に従事する職員数は、1,021人であり、前年度末に比べ20人減少した。

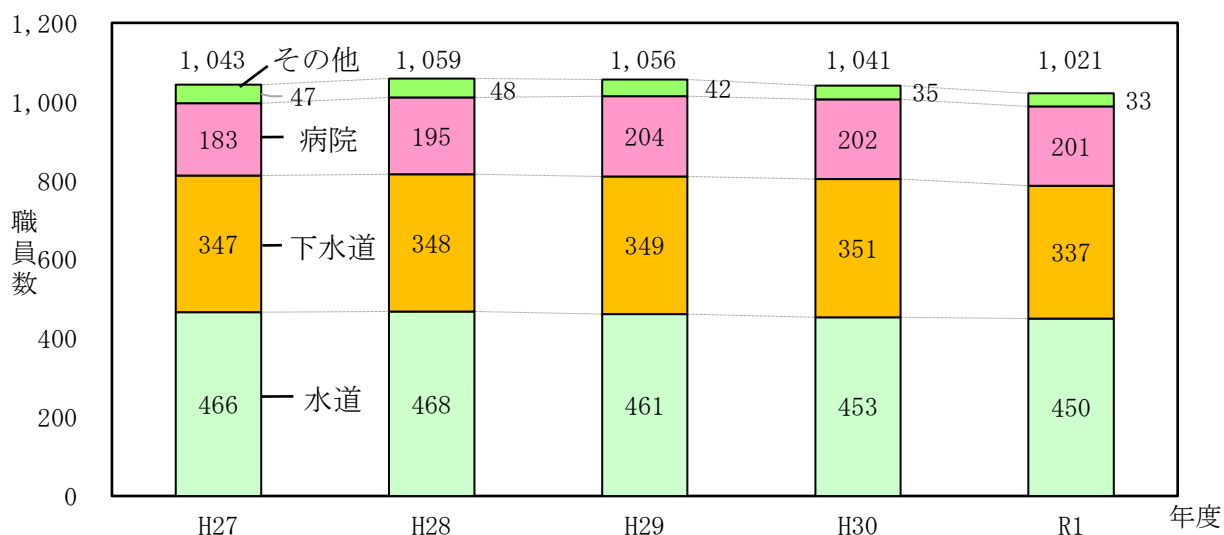
第2表 地方公営企業の職員数

(単位：人、%)

項目		H27	H28	H29	H30(A)	構成比	R1(B)	構成比	B-A
法適用	上水道	460	462	460	452	43.4	450	44.1	▲ 2
	工業用水道	3	2	2	2	0.2	2	0.2	—
	病院	183	195	204	202	19.4	201	19.7	▲ 1
	下水道	93	90	90	119	11.4	157	15.4	38
	市場	15	15	15	15	1.4	15	1.5	—
	小計	754	764	771	790	75.9	825	80.8	35
法非適用	簡易水道	6	6	1	1	0.1	—	—	▲ 1
	下水道	254	258	259	232	22.3	180	17.6	▲ 52
	市場	4	8	4	0	—	0	—	—
	と畜場	2	2	2	2	0.2	2	0.2	—
	観光施設	4	4	4	4	0.4	5	0.5	1
	宅地造成	18	16	14	11	1.1	9	0.9	▲ 2
	駐車場	0	0	0	0	—	0	—	—
	介護サービス	1	1	1	1	0.1	—	—	▲ 1
	電気	0	0	0	0	—	0	—	—
小計	289	295	285	251	24.1	196	19.2	▲ 55	
合計	1,043	1,059	1,056	1,041	100.0	1,021	100.0	▲ 20	

(注) 各年度の職員数は年度末の数値である。

第2図 事業別職員数の推移



(注) 水道は上水道及び簡易水道の計、下水道は法適用及び法非適用の計である。

3 決算規模（第3表・第3図・第4図）

令和元(2019)年度の県内市町等の公営企業全体の決算規模は、1,117億20百万円で、前年度に比べ10億26百万円(0.9%)増加した。この主な要因は、上水道事業の建設改良費の増加等に伴う資本的支出の増によるものである。

全事業のうちで決算規模が最も大きいのは、上水道事業453億9百万円(全体の40.6%)であり、次いで法適用下水道事業314億1百万円(同28.1%)、法非適用下水道事業290億18百万円(同26.0%)、病院事業31億36百万円(同2.8%)、宅地造成事業14億12百万円(同1.3%)となっている。

なお、公営企業全体の決算規模は、令和元年度市町村等普通会計歳出決算規模8,524億61百万円(一部事務組合の決算額を含む)の13.1%に相当している。

第3表 地方公営企業の決算規模の推移

(単位：百万円、%)

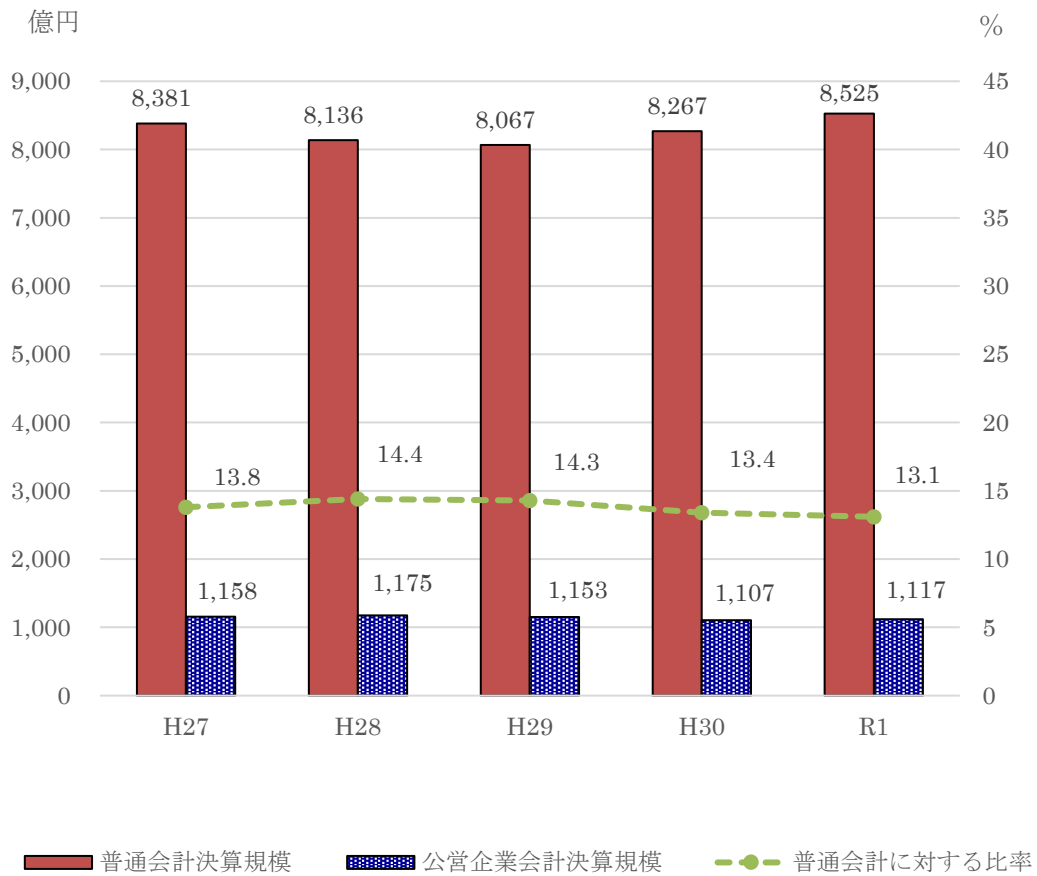
項目	決算規模					対前年度増減率				伸長指数(H27=100)				
	H27	H28	H29	H30	R1	H28	H29	H30	R1	H28	H29	H30	R1	
法適用	上水道	44,091	40,715	43,251	42,032	45,309	▲7.7	6.2	▲2.8	7.8	92	98	95	103
	工業用水道	186	161	195	187	169	▲13.0	20.8	▲3.9	▲9.9	87	105	101	91
	病院	3,862	3,887	3,841	3,157	3,136	0.7	▲1.2	▲17.8	▲0.7	101	99	82	81
	下水道	15,454	14,617	15,045	21,552	31,401	▲5.4	2.9	43.2	45.7	95	97	139	203
	市場	748	696	648	652	615	▲6.9	▲6.8	0.6	▲5.7	93	87	87	82
	小計	64,340	60,077	62,980	67,580	80,630	▲6.6	4.8	7.3	19.3	93	98	105	125
法非適用	簡易水道	562	586	108	77	0	4.3	▲81.6	▲28.4	皆減	104	19	14	0
	下水道	46,869	47,122	45,515	40,032	29,018	0.5	▲3.4	▲12.0	▲27.5	101	97	85	62
	市場	802	754	330	92	78	▲6.0	▲56.3	▲72.1	▲15.6	94	41	11	10
	と畜場	77	74	72	76	88	▲4.1	▲2.0	5.5	15.2	96	94	99	114
	観光施設	229	260	271	302	298	13.4	4.2	11.6	▲1.1	113	118	132	130
	宅地造成	2,642	8,404	5,759	2,300	1,412	218.1	▲31.5	▲60.1	▲38.6	318	218	87	53
	駐車場	144	144	142	142	138	▲0.2	▲1.0	▲0.4	▲2.7	100	99	98	96
	介護サービス	65	51	50	37	0	▲21.3	▲3.4	▲25.8	皆減	79	76	56	0
	電気	58	57	55	56	58	▲0.1	▲4.1	1.4	3.0	100	96	97	100
	小計	51,448	57,452	52,302	43,113	31,090	11.7	▲9.0	▲17.6	▲27.9	112	102	84	60
合計	115,788	117,529	115,282	110,694	111,720	1.5	▲1.9	▲4.0	0.9	102	100	96	96	

(注) 決算規模の算出方法は次のとおり。

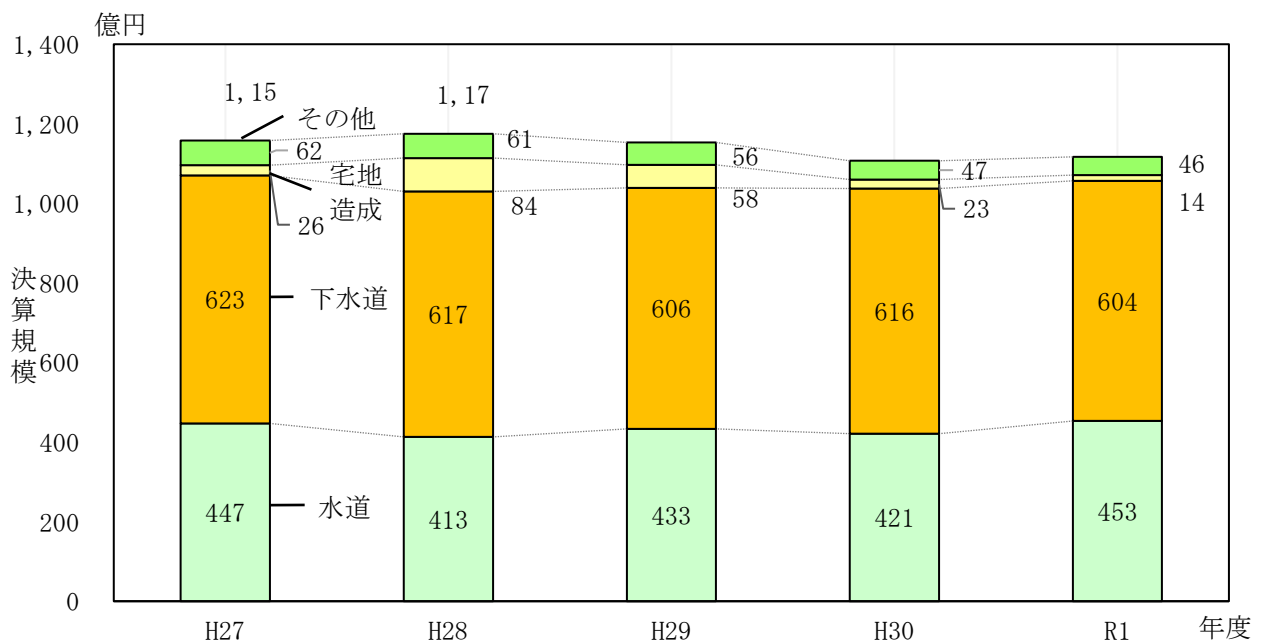
法適用企業：総費用(税込)－減価償却費＋資本的支出(建設改良費や企業債償還金等の支出)

法非適用企業：総費用＋資本的支出＋積立金＋繰上充用金

第3図 普通会計と公営企業会計の決算規模の比較



第4図 決算規模の推移



4 建設投資額（第4表・第5図）

令和元(2019)年度の建設投資額は323億37百万円で、前年度に比べ31億89百万円（10.9%）増加した。この増加のうち主なものは、上水道事業（+37億36百万円）である。建設投資額が最も大きい事業は、上水道事業165億98百万円（全体の51.3%）、次いで、法適用下水道事業83億86百万円（同25.9%）、法費適用下水道事業60億12百万円（同18.6%）となっている。

公営企業の建設投資額は、過去のピークであった平成7(1995)年度（997億1百万円）に比べ32.4%の水準まで低下している。特に建設投資額全体の44.5%を占める下水道事業は、過去のピークであった平成8(1996)年度(667億94百万円)の21.6%の水準まで低下している。

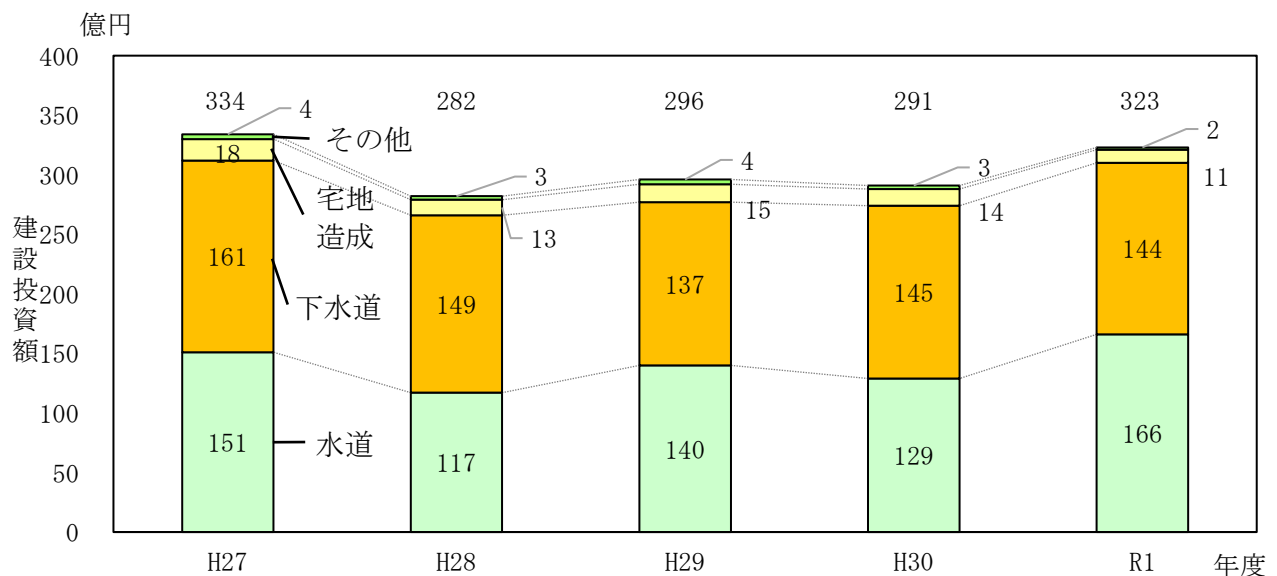
第4表 地方公営企業の建設投資額の推移

(単位：百万円、%)

項目	建設投資額					対前年度増減率				伸長指数 (H27=100)				
	H27	H28	H29	H30	R1	H28	H29	H30	R1	H28	H29	H30	R1	
法適用	上水道	14,926	11,569	13,975	12,862	16,598	▲ 22.5	20.8	▲ 8.0	29.1	78	94	86	111
	工業用水道	20	26	55	41	30	30.0	110.2	▲ 25.2	▲ 27.3	130	273	204	149
	病院	292	222	231	173	103	▲ 23.8	4.0	▲ 25.1	▲ 40.6	76	79	59	35
	下水道	3,793	2,474	3,051	5,401	8,386	▲ 34.8	23.3	77.0	55.3	65	80	142	221
	市場	10	11	17	20	83	12.0	54.9	12.4	326.3	112	173	195	831
	小計	19,041	14,303	17,329	18,496	25,200	▲ 24.9	21.2	6.7	36.2	75	91	97	132
法非適用	簡易水道	126	154	6	4	0	21.9	▲ 96.2	▲ 27.0	皆減	122	5	3	—
	下水道	12,258	12,408	10,681	9,131	6,012	1.2	▲ 13.9	▲ 14.5	▲ 34.2	101	87	74	49
	市場	0	0	2	29	28	—	皆増	1,715.3	▲ 2.8	—	—	—	—
	と畜場	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	
	観光施設	12	11	9	17	7	▲ 6.1	▲ 19.3	90.2	▲ 56.4	94	76	144	63
	宅地造成	1,819	1,318	1,520	1,446	1,078	▲ 27.6	15.4	▲ 4.9	▲ 25.5	72	84	79	59
	駐車場	1	1	6	25	12	47.4	355.5	346.1	▲ 50.5	147	671	2,994	1,483
	介護サービス	18	5	2	0	0	▲ 74.7	▲ 53.1	皆減	—	25	12	—	—
	電気	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	小計	14,234	13,896	12,225	10,652	7,138	▲ 2.4	▲ 12.0	▲ 12.9	▲ 33.0	98	86	75	50
合計	33,274	28,199	29,554	29,148	32,337	▲ 15.3	4.8	▲ 1.4	10.9	85	89	88	97	

(注) 建設投資額とは、資本的支出の建設改良費である。

第5図 建設投資額の推移



(注) 水道は上水道及び簡易水道の計、下水道は法適用及び法非適用の計である。

5 企業債（第5表、第6図、第6表、第7図、第7表、第8図）

1 企業債発行額

令和元(2019)年度の企業債発行額は141億30百万円で、前年度に比べ26百万円(0.2%)増加した。この主な要因は、建設改良費の増加である。

企業債発行額の大きな事業は、法非適用下水道事業49億90百万円(全体の35.3%)、次いで法適用下水道事業47億58百万円(同33.7%)、上水道事業36億90百万円(同26.1%)となっている。

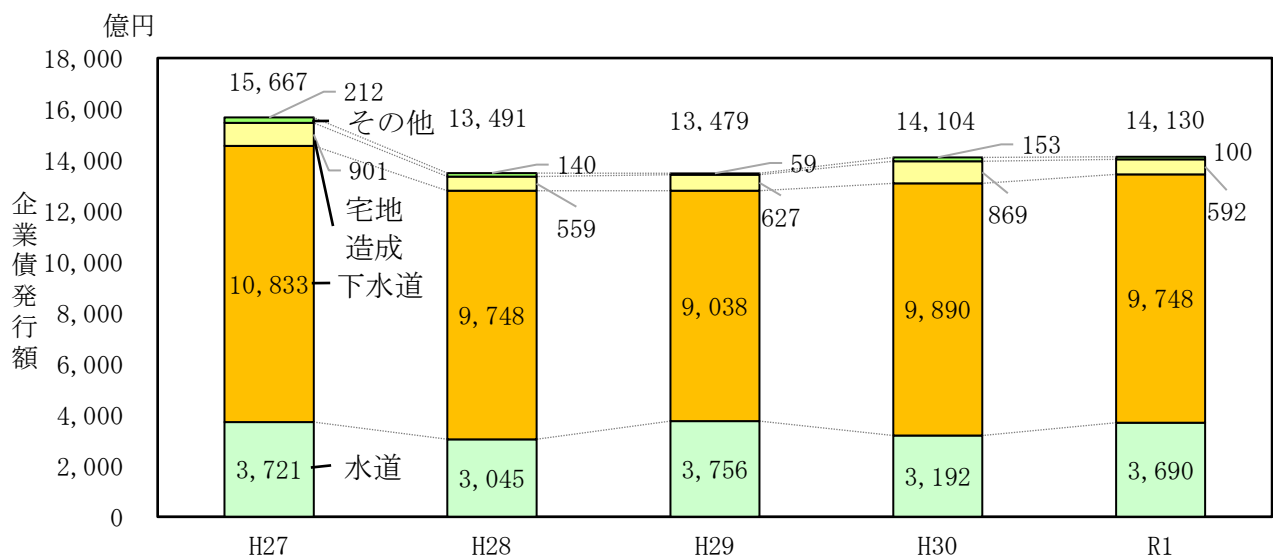
第5表 地方公営企業の企業債発行額の推移

(単位：百万円、%)

項目	企業債発行額					対前年度増減率				伸長指数(H27=100)				
	H27	H28	H29	H30	R1	H28	H29	H30	R1	H28	H29	H30	R1	
法適用	上水道	3,672	2,954	3,756	3,192	3,690	▲19.6	27.2	▲15.0	15.6	80	102	87	100
	工業用水道	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	病院	212	140	59	125	72	▲34.0	▲58.1	113.3	▲42.5	66	28	59	34
	下水道	2,425	1,129	1,192	2,543	4,758	▲53.4	5.5	113.4	87.1	47	49	105	196
	市場	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	小計	6,309	4,222	5,006	5,859	8,520	▲33.1	18.6	17.0	45.4	67	79	93	135
法非適用	簡易水道	49	91	0	0	0	87.0	皆減	—	—	187	—	—	—
	下水道	8,408	8,620	7,847	7,347	4,990	2.5	▲9.0	▲6.4	▲32.1	103	93	87	59
	市場	0	0	0	28	28	—	—	皆増	▲0.7	—	—	—	—
	と畜場	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	観光施設	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	宅地造成	901	559	627	869	592	▲38.0	12.2	38.8	▲31.9	62	70	96	66
	駐車場	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	介護サービス	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	電気	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	小計	9,358	9,269	8,473	8,245	5,609	▲1.0	▲8.6	▲2.7	▲32.0	99	91	88	60
合計	15,667	13,491	13,479	14,104	14,130	▲13.9	▲0.1	4.6	0.2	86	86	90	90	

(注) 企業債＝地方債

第6図 企業債発行額の推移



(注) 水道は上水道及び簡易水道の計、下水道は法適用及び法非適用の計である。

2 企業債元利償還額

令和元(2019)年度の企業債元利償還額は414億12百万円で、前年度に比べ11億20百万円(2.6%)減少した。

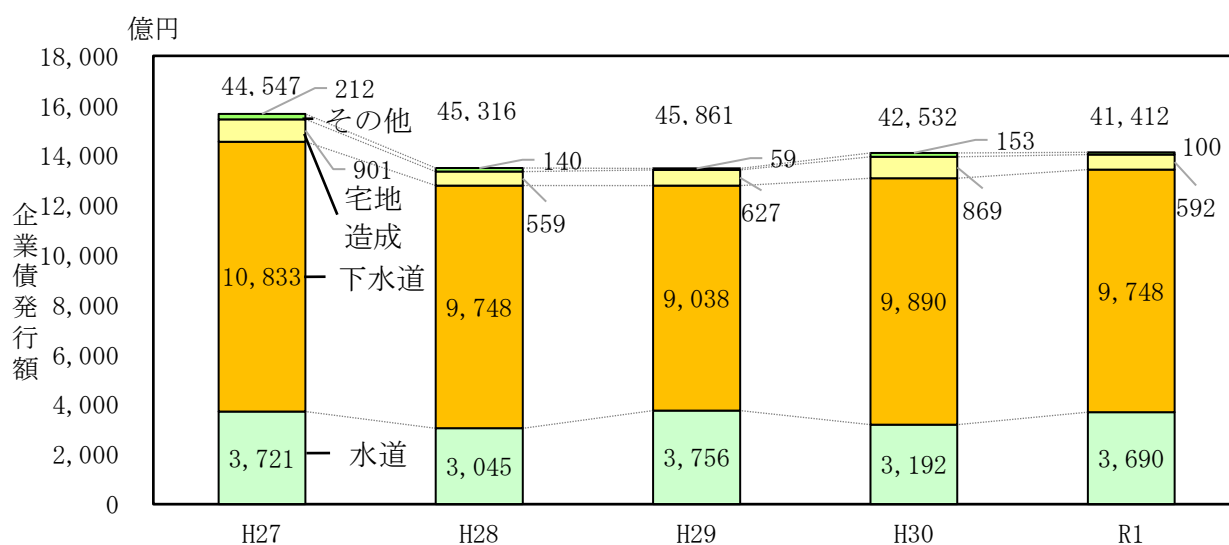
企業債元利償還額の大きな事業は下水道事業で、法適用及び法非適用の合計は293億67百万円(全体の70.9%)、次いで上水道事業113億6百万円(同27.3%)である。上下水道事業の償還額の合計は406億73百万円となり、公営企業全体の98.2%にあたる。

第6表 地方公営企業の企業債元利償還額の推移

(単位：百万円、%)

項目	企業債元利償還額					対前年度増減率				伸長指数(H27=100)			
	H27	H28	H29	H30	R1	H28	H29	H30	R1	H28	H29	H30	R1
法適用													
上水道	11,656	11,636	11,787	11,712	11,306	▲0.2	1.3	▲0.6	▲3.5	100	101	100	97
工業用水道	41	39	36	36	34	▲4.1	▲7.8	0.0	▲5.2	96	88	88	84
病院	568	510	455	433	407	▲10.2	▲10.9	▲4.8	▲5.9	90	80	76	72
下水道	7,174	7,043	6,881	9,480	13,979	▲1.8	▲2.3	37.8	47.5	98	96	132	195
市場	118	118	118	118	102	0.0	0.0	0.0	▲13.7	100	100	100	86
小計	19,555	19,345	19,276	21,778	25,828	▲1.1	▲0.4	13.0	18.6	99	99	111	132
法非適用													
簡易水道	247	237	47	34	—	▲4.2	▲80.4	▲27.9	皆減	96	19	14	—
下水道	23,727	23,685	23,647	20,628	15,388	▲0.2	▲0.2	▲12.8	▲25.4	100	100	87	65
市場	366	366	333	26	1	0.0	▲9.1	▲92.0	▲95.6	100	91	7	—
と畜場	12	12	12	12	—	0.0	0.0	0.0	皆減	100	100	100	—
観光施設	7	7	7	7	7	▲0.4	▲0.4	▲0.4	▲0.4	100	99	99	98
宅地造成	596	1,627	2,502	10	187	173.1	53.8	▲99.6	1,871.4	273	420	2	31
駐車場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
介護サービス	37	37	37	37	—	0.0	0.0	0.0	皆減	100	100	100	—
電気	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	24,992	25,971	26,584	20,753	15,584	3.9	2.4	▲21.9	▲24.9	104	106	83	62
合計	44,547	45,316	45,861	42,532	41,412	1.7	1.2	▲7.3	▲2.6	102	103	95	93

第7図 企業債元利償還額の推移



(注)水道は上水道及び簡易水道の計、下水道は法適用及び法非適用の計である。

3 企業債現在高

令和元(2019)年度末の企業債現在高は3,902億92百万円で、前年度に比べ197億84百万円(▲4.8%)減少した。また、企業債現在高は、公営企業決算規模1,117億20百万円の約3.5倍になっており、決算規模が普通会計歳出決算規模(8,524億61百万円)の13.1%であるのに対し、普通会計地方債現在高(6,331億62百万円)の61.6%の水準となっている。

なお、企業債現在高と普通会計地方債現在高を合わせると、1兆234億55百万円となる。

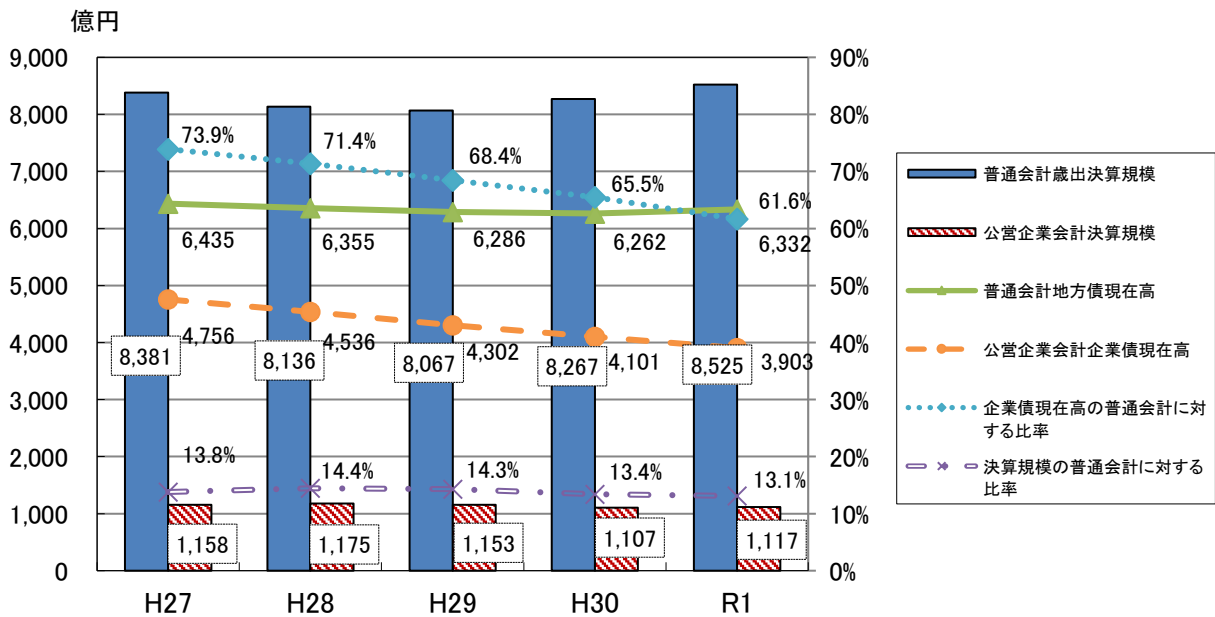
第7表 地方公営企業の企業債現在高の推移

(単位：百万円、%)

項目	企業債現在高					対前年度増減率				伸長指数(H27=100)				
	H27	H28	H29	H30	R1	H28	H29	H30	R1	H28	H29	H30	R1	
法適用	上水道	129,992	124,125	120,635	114,526	109,220	▲4.5	▲2.8	▲5.1	▲4.6	95	93	88	84
	工業用水道	226	190	157	123	90	▲15.8	▲17.6	▲21.7	▲26.6	84	69	54	40
	病院	2,996	2,703	2,376	2,130	1,850	▲9.8	▲12.1	▲10.3	▲13.2	90	79	71	62
	下水道	66,211	61,803	57,489	84,357	129,408	▲6.7	▲7.0	▲46.7	53.4	93	87	127	195
	市	470	369	263	154	57	▲21.6	▲28.6	▲41.5	▲63.1	78	56	33	12
	小計	199,894	189,190	180,920	201,290	240,624	▲5.4	▲4.4	▲11.3	19.5	95	91	101	120
法非適用	簡易水道	2,202	2,100	149	119	—	▲4.6	▲92.9	▲20.2	皆減	95	7	5	—
	下水道	268,942	259,279	248,334	207,038	147,611	▲3.6	▲4.2	▲16.6	▲28.7	96	92	77	55
	市場	696	356	27	30	57	▲48.8	▲92.3	8.6	90.7	51	4	4	8
	と畜場	35	23	12	—	—	▲32.8	▲49.6	皆減	—	67	34	—	—
	観光施設	114	107	100	93	86	▲6.0	▲6.4	▲6.9	▲7.4	94	88	82	76
	宅地造成	3,581	2,516	645	1,506	1,914	▲29.7	▲74.4	133.6	27.1	70	18	42	53
	駐車場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	介護サービス	102	70	36	—	—	▲31.7	▲48.8	皆減	—	68	35	—	—
	電気	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小計	275,671	264,451	249,303	208,786	149,668	▲4.1	▲5.7	▲16.3	▲28.3	96	90	76	54
合計	475,565	453,641	430,222	410,076	390,292	▲4.6	▲5.2	▲4.7	▲4.8	95	90	86	82	

(注) 企業債＝地方債

第8図 企業債現在高及び決算規模の推移



(注) 普通会計歳出決算規模及び普通会計地方債現在高は一部事務組合を含む。
水道は上水道及び簡易水道の計、下水道は法適用及び法非適用の計である。

6 他会計繰入金（第8表・第9表・第9図）

令和元(2019)年度の地方公営企業に対する他会計からの繰入金は273億10百万円で、前年度に比べ1億30百万円（▲0.5%）減少した。このうち、国の示す「令和元年度の地方公営企業繰出金について」に基づき一般会計が負担した額（基準内繰入金）は198億14百万円（全体の82.6%）であるのに対し、繰出基準に基づかない繰入金（基準外繰入金）は74億96百万円（同27.4%）で、この基準外繰入金は、実質的には財源不足を補うための赤字補てん等に充てられている。

基準外繰入金の額が大きい事業は下水道事業の61億74百万円（法適用及び法非適用の合計）で、基準外繰入金全体の82.4%に相当する。

第8表 地方公営企業への他会計繰入金の推移

（単位：百万円、%）

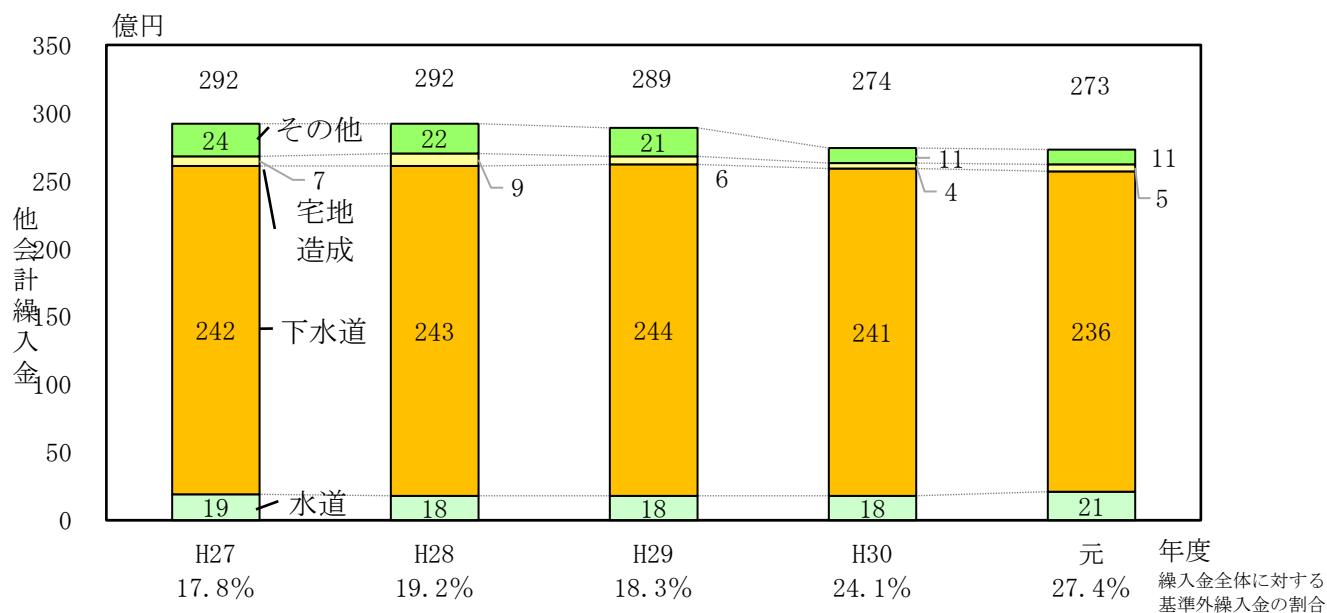
項目	他会計繰入金					対前年度増減率				伸長指数(H27=100)				
	H27	H28	H29	H30	R1	H28	H29	H30	R1	H28	H29	H30	R1	
法適用	上水道	1,715	1,665	1,745	1,797	2,081	▲ 2.9	4.8	3.0	15.8	97	102	105	121
	工業用水道	45	36	30	30	30	▲ 19.3	▲ 15.9	▲ 0.2	▲ 0.3	81	68	68	68
	病院	1,493	1,368	1,471	773	755	▲ 8.4	7.5	▲ 47.5	▲ 2.3	92	99	52	51
	下水道	4,699	4,910	4,327	6,942	10,278	4.5	▲ 11.9	60.4	48.1	105	92	148	219
	市場	236	206	150	140	158	▲ 12.3	▲ 27.3	▲ 6.6	12.8	88	64	60	67
	小計	8,187	8,186	7,723	9,682	13,303	0.0	▲ 5.7	25.4	37.4	100	94	118	162
法非適用	簡易水道	139	133	23	17	-	▲ 4.5	▲ 82.5	▲ 27.9	皆減	95	17	12	-
	下水道	19,504	19,341	20,089	17,178	13,335	▲ 0.8	3.9	▲ 14.5	▲ 22.4	99	103	88	68
	市場	455	437	231	49	39	▲ 3.9	▲ 47.2	▲ 78.8	▲ 21.0	96	51	11	9
	と畜場	46	46	45	49	31	▲ 0.5	▲ 2.0	9.4	▲ 37.9	100	98	107	66
	観光施設	53	56	76	50	53	4.8	36.4	▲ 34.5	5.9	105	143	94	99
	宅地造成	746	904	647	377	549	21.2	▲ 28.4	▲ 41.7	45.6	121	87	51	74
	駐車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護サービス	65	51	50	37	-	▲ 21.2	▲ 3.4	▲ 25.7	皆減	79	76	57	-
	電気	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	21,009	20,969	21,162	17,758	14,007	▲ 0.2	0.9	▲ 16.1	▲ 21.1	100	101	85	67
合計	29,196	29,154	28,885	27,440	27,310	▲ 0.1	▲ 0.9	▲ 5.0	▲ 0.5	100	99	94	94	

第9表 他会計繰入金の内訳

(単位：百万円、%)

項目	収益的収入			資本的収入			他会計繰入金合計			基準外繰入金の割合 B/A	
	計	基準内繰入金	基準外繰入金	計	基準内繰入金	基準外繰入金	計 A	基準内繰入金	基準外繰入金 B		
法適用	上水道	559	304	256	1,521	1,232	290	2,081	1,536	545	26.2
	工業用水道	9	—	9	21	—	21	30	—	30	100.0
	病院	469	459	10	286	221	64	755	680	75	9.9
	下水道	7,651	5,448	2,203	2,628	575	2,053	10,278	6,023	4,256	41.4
	市場	110	99	11	49	49	—	158	147	11	6.9
	小計	8,798	6,309	2,489	4,504	2,077	2,428	13,303	8,386	4,917	37.0
法非適用	下水道	11,152	10,309	843	2,183	1,108	1,075	13,335	11,418	1,918	14.4
	市場	38	10	28	1	1	1	39	10	29	73.9
	と畜場	31	—	31	—	—	—	31	—	31	100.0
	観光施設	53	—	53	—	—	—	53	—	53	100.0
	宅地造成	17	—	17	532	—	532	549	—	549	100.0
	駐車場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	電気	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	11,291	10,319	972	2,717	1,109	1,608	14,007	11,428	2,580	18.4	
合計	20,089	16,628	3,461	7,221	3,186	4,035	27,310	19,814	7,496	27.4	
平成30年度	20,978	18,044	2,934	6,462	2,788	3,674	27,440	20,832	6,608	24.1	

第9図 他会計繰入金の推移



7 法適用企業の経営状況

(第10表・第11表・第12表・第13表・第10図・第11図・第12図・第13図)

地方公営企業のうち、地方公営企業法の全部又は財務規定等を適用し、その経理を企業会計方式(複式簿記)で会計処理を行っている事業を法適用企業といい、令和元(2019)年度においては前年度から10事業増の45事業であった。法適用企業の決算規模は806億30百万円で、前年度に比べ130億50百万円(19.3%)増加しており、公営企業全体の決算規模に占める割合は72.2%となっている。

1 収益的収支

令和元(2019)年度の経常損益は、経常収益(営業収益+営業外収益)が666億4百万円、経常費用(営業費用+営業外費用)が600億17百万円で、差引65億87百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字額が2億88百万円(▲4.2%)減少した。但し、これは一般会計からの基準外繰入金24億89百万円を含んだ損益であり、この基準外繰入金を控除した場合の実質的な経常損益の黒字額は40億98百万円であった。また、経常収支比率は111.0%で、前年度を2.1ポイント下回った。

純損益は65億37百万円で、前年度に比べ3億23百万円(▲4.7%)減少した。そのうち純利益を生じた事業(黒字事業)は43事業(前年度35事業)、純損失を生じた事業(赤字事業)は2事業(前年度1事業)あり、純損失を生じた事業の内訳は上水道事業1事業、病院事業1事業となっている。

2 累積欠損金(当年度未処理欠損金)

令和元(2019)年度末の累積欠損金は14億56百万円で、前年度に比べ1億61百万円(12.4%)減少した。累積欠損金を保有する事業は2事業で、内訳は上水道事業1事業、病院事業1事業となっている。

3 資本的収支

令和元(2019)年度の資本的収支は、建設改良費等の資本的支出は463億77百万円で、前年度に比べ103億85百万円(28.9%)増加した。この主な要因は、公営企業法適用による法適用下水道事業数の増に伴う建設改良費の増加である。資本的支出の内訳は、建設改良費が252億円、企業債償還金が210億35百万円等となっている。一方、資本的支出に対する財源は、企業債等の外部資金が179億66百万円で、前年度に比べ56億10百万円(45.4%)増加し、損益勘定留保資金等の内部資金は284億11百万円で、前年度に比べ47億75百万円(20.2%)増加した。

第10表 法適用企業の決算状況の推移

(単位:千円、%)

項 目	H27	H28	H29	H30 (A)	R1 (B)	対前年度比較	
						B-A (C)	C/A
総 収 益 (a)	56,083,765	55,817,312	55,824,275	59,387,176	66,715,970	7,328,794	12.3
経 常 収 益 (b)	55,584,106	55,367,446	55,665,066	59,287,013	66,603,972	7,316,959	12.3
営業(医業)収益 (c)	44,752,779	45,183,665	45,392,323	47,247,431	49,954,911	2,707,480	5.7
うち料金収入	41,652,155	41,880,605	42,203,436	43,855,133	45,995,557	2,140,424	4.9
他会計補助金	4,330,738	3,880,024	4,024,822	5,088,360	6,777,893	1,689,533	33.2
他会計負担金	1,565,899	1,546,769	1,465,845	1,352,325	2,020,320	667,995	49.4
国庫県補助金	248,838	10,978	7,106	21,915	44,900	22,985	104.9
長期前受金戻入	5,465,595	5,420,322	5,494,334	6,285,017	9,271,272	2,986,255	47.5
特 別 利 益 (d)	499,659	449,866	159,209	100,163	111,998	11,835	11.8
総 費 用 (e)	49,108,662	48,776,267	48,930,672	52,527,377	60,179,090	7,651,713	14.6
経 常 費 用 (f)	48,252,072	48,276,668	48,747,549	52,411,383	60,016,680	7,605,297	14.5
営業(医業)費用	42,793,845	43,236,167	43,866,877	47,970,386	55,019,250	7,048,864	14.7
うち職員給与費	5,153,404	5,153,220	5,064,326	5,246,565	5,329,327	82,762	1.6
うち減価償却費	21,846,700	22,089,118	22,311,970	24,552,035	29,183,111	4,631,076	18.9
支払利息	4,779,363	4,418,251	4,091,889	4,336,907	4,792,939	456,032	10.5
特 別 損 失 (g)	856,590	499,599	183,123	115,994	162,410	46,416	40.0
経 常 損 益 (b-f)	7,332,034	7,090,778	6,917,517	6,875,630	6,587,292	▲ 288,338	▲ 4.2
経常利益	7,470,382	7,196,614	7,045,378	6,979,494	6,747,313	▲ 232,181	▲ 3.3
経常損失(△) (h)	138,348	105,846	127,861	103,864	160,021	56,157	54.1
特 別 損 益 (d-g)	▲ 356,931	▲ 49,733	▲ 23,914	▲ 15,831	▲ 50,412	▲ 34,581	▲ 218.4
純 損 益 (a-e)	6,975,103	7,041,045	6,893,603	6,859,799	6,536,880	▲ 322,919	▲ 4.7
累積欠損金 (i)	1,885,931	1,992,249	2,117,763	1,295,303	1,455,919	160,616	12.4
不良債務 (j)	—	—	—	—	—	—	—
経常収支比率 (b/f)	115.2	114.7	114.2	113.1	111.0	▲ 2.1	—
総収支比率 (a/e)	114.2	114.4	114.1	113.1	110.9	▲ 2.2	—
経常損失比率 (h/c)	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3	0.1	—
累積欠損金比率(i/c)	4.2	4.4	4.7	2.7	2.9	0.2	—
不良債務比率 (j/c)	—	—	—	—	—	—	—
総 事 業 数	31	31	31	36	45	9	25.0
経常損失事業数	2	2	2	1	2	1	100.0
累積欠損金保有事業数	3	3	2	1	2	1	100.0
不良債務保有事業数	—	—	—	—	—	—	—

- (注) 1. 営業収益は、受託工事収益を除いたものである。
2. 経常収益＝総収益－特別利益
3. 経常費用＝総費用－特別損失

第11表 法適用企業の事業別決算状況

(単位：千円、%)

項 目	上水道	工業用水道	病 院	下水道	市 場	全事業
総 収 益 (a)	37,704,691	200,880	2,663,039	25,577,950	569,410	66,715,970
経 常 収 益 (b)	37,640,495	200,792	2,663,039	25,530,239	569,407	66,603,972
営業(医業)収益 (c)	33,801,131	184,322	2,305,631	13,234,749	429,078	49,954,911
うち料金収入	31,946,526	179,549	2,086,827	11,430,488	352,167	45,995,557
他会計補助金	417,904	9,484	171,928	6,068,955	109,622	6,777,893
他会計負担金	141,552	—	297,163	1,581,605	—	2,020,320
国庫県補助金	17,340	—	3,929	23,631	—	44,900
長期前受金戻入	3,055,308	6,558	11,562	6,168,003	29,841	9,271,272
特 別 利 益 (d)	64,196	88	—	47,711	3	111,998
総 費 用 (e)	32,702,027	140,996	2,818,377	23,952,712	564,978	60,179,090
経 常 費 用 (f)	32,590,831	140,996	2,817,819	23,906,189	560,845	60,016,680
営業(医業)費用	30,358,727	138,767	2,680,497	21,289,247	552,012	55,019,250
うち職員給与費	2,831,923	11,550	1,559,836	790,820	135,198	5,329,327
うち減価償却費	15,626,441	53,127	151,746	13,263,847	87,950	29,183,111
支払利息	2,191,037	1,329	54,550	2,541,652	4,371	4,792,939
特 別 損 失 (g)	111,196	—	558	46,523	4,133	162,410
経 常 損 益 (b-f)	5,049,664	59,796	▲ 154,780	1,624,050	8,562	6,587,292
経常利益	5,054,905	59,796	—	1,624,050	8,562	6,747,313
経常損失(△) (h)	5,241	—	154,780	—	—	160,021
特 別 損 益 (d-g)	▲ 47,000	88	▲ 558	1,188	▲ 4,130	▲ 50,412
純 損 益 (a-e)	5,002,664	59,884	▲ 155,338	1,625,238	4,432	6,536,880
純利益	5,007,942	59,884	—	1,625,238	4,432	6,697,496
純損失(△)	5,278	—	155,338	—	—	160,616
累積欠損金 (i)	5,278	—	1,450,641	—	—	1,455,919
不 良 債 務 (j)	—	—	—	—	—	—
経常収支比率 (b/f)	115.5	142.4	94.5	106.8	101.5	111.0
総収支比率 (a/e)	115.3	142.5	94.5	106.8	100.8	110.9
経常損失比率 (h/c)	—	—	6.7	—	—	0.3
累積欠損金比率 (i/c)	—	—	62.9	—	—	2.9
不良債務比率 (j/c)	—	—	—	—	—	—
総 事 業 数	23	2	2	17	1	45
経常損失事業数	1	—	1	—	—	2
純損失事業数	1	—	1	—	—	2
累積欠損金保有事業数	1	—	1	—	—	2
不良債務保有事業数	—	—	—	—	—	—
基準外他会計繰入金	255,644	9,484	10,060	2,202,989	10,932	2,489,109
〃 控除後の経常損益	4,794,020	50,312	▲ 164,840	▲ 578,939	▲ 2,370	4,098,183
〃 控除後の純損益	4,747,020	50,400	▲ 165,398	▲ 577,751	▲ 6,500	4,047,771

- (注) 1. 営業収益は、受託工事収益を除いたものである。
 2. 経常収益＝総収益－特別利益
 3. 経常費用＝総費用－特別損失

第12表 法適用企業の資本的収支の推移

(単位：千円、%)

項目	H27	H28	H29	H30 (A)	R1 (B)	対前年度比較		
						B-A (C)	C/A	
資本的支出	建設改良費	19,040,677	14,302,826	17,328,806	18,495,675	25,199,683	6,704,008	36.2
	企業債償還金	14,775,715	14,927,047	15,184,796	17,441,608	21,034,929	3,593,321	20.6
	他会計借入金返還額	—	—	—	—	—	—	—
	その他	22,052	324,522	243,810	54,458	142,004	87,546	160.8
	計	33,838,444	29,554,395	32,757,412	35,991,741	46,376,616	10,384,875	28.9
財源	内部資金	22,720,756	20,808,775	23,245,896	23,635,911	28,410,562	4,774,651	20.2
	外部資金	11,117,688	8,745,620	9,511,516	12,355,830	17,966,054	5,610,224	45.4
	1. 企業債	6,308,900	4,222,400	5,005,800	5,859,200	8,518,400	2,659,200	45.4
	2. 他会計繰入金	2,259,523	2,701,400	2,201,898	3,216,398	4,504,451	1,288,053	40.0
	3. 国・県補助金	1,570,601	1,237,616	1,607,775	2,264,833	3,646,847	1,382,014	61.0
	4. 翌年度繰越財源充当(△)	20,952	24,550	44,970	49,900	400	▲ 49,500	▲ 99.2
	計	33,730,373	29,554,395	32,757,412	35,991,741	46,376,616	10,384,875	28.9
財源不足額	—	—	—	—	—	—	—	

(注) 1. 内部資金＝補てん財源－前年度からの繰越工事資金＋固定資産売却代金

2. 外部資金＝資本的支出額－(内部資金＋財源不足額)

第13表 法適用企業の事業別資本的収支の状況

(単位：千円、%)

項目	上水道	工業用水道	病院	下水道	市場	全事業	
資本的支出	建設改良費	16,598,110	29,696	102,746	8,385,884	83,247	25,199,683
	企業債償還金	9,115,388	32,652	352,531	11,437,181	97,177	21,034,929
	他会計借入金返還額	—	—	—	—	—	—
	その他	137,552	—	2,520	1,932	—	142,004
	計	25,851,050	62,348	457,797	19,824,997	180,424	46,376,616
財源	内部資金	18,960,416	41,648	94,999	9,181,663	131,836	28,410,562
	外部資金	6,890,634	20,700	362,798	10,643,334	48,588	17,966,054
	1. 企業債	3,690,100	—	71,800	4,756,500	—	8,518,400
	2. 他会計繰入金	1,521,463	20,700	285,783	2,627,917	48,588	4,504,451
	3. 国・県補助金	880,457	—	—	2,766,390	—	3,646,847
	4. 翌年度繰越財源充当(△)	400	—	—	—	—	400
	計	25,851,050	62,348	457,797	19,824,997	180,424	46,376,616
財源不足額	—	—	—	—	—	—	

(注) 1. 内部資金＝補てん財源－前年度からの繰越工事資金＋固定資産売却代金

2. 外部資金＝資本的支出額－(内部資金＋財源不足額)

8 法非適用企業の経営状況

(第14表・第15表・第10図・第11図・第12図・第13図)

地方公営企業法の規定を適用していない事業で、地方財政法第6条の規定に基づき、その経理に特別会計を設けて官庁会計方式（単式簿記）で会計処理を行っている事業を法非適用企業といい、令和元(2019)年度においては、60事業（前年度比▲16事業）であった。法非適用企業の決算規模は310億90百万円で、前年度に比べ120億23百万円（▲27.9%）減少しており、公営企業全体の決算規模に占める割合は27.8%となっている。

1 収益的収支

令和元(2019)年度の収益的収支は、総収益は210億14百万円で、前年度に比べ71億17百万円（▲25.3%）減少した。一方、総費用は108億27百万円で、前年度に比べ37億83百万円（▲25.9%）減少した。この結果、総収益と総費用との収支差引は101億88百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字額が33億34百万円（▲24.7%）減少した。この収支差引を事業別に見ると、下水道事業97億47百万円、宅地造成事業4億2百万円等となっている。但し、これは一般会計からの基準外繰入金9億72百万円を含んだ損益であり、この基準外繰入金を控除した場合の実質的な収支の黒字額は92億16百万円であった。

2 資本的収支

令和元(2019)年度の資本的収支は、資本的支出が202億26百万円で、前年度に比べ82億49百万円（▲29.0%）減少した。この主な要因は、公営企業法適用による法非適用下水道事業数の減に伴う建設改良費の減少である。一方、資本的支出の財源である資本的収入は107億67百万円で、前年度に比べ42億5百万円（▲28.1%）減少し、このうち地方債は54億38百万円、他会計繰入金は27億17百万円であった。この結果、資本的収入と資本的支出の収支差引は94億59百万円の赤字で、前年度に比べ赤字額が40億43百万円（▲29.9%）減少した。また、基準外繰入金16億8百万円を控除した場合の実質的な収支の赤字額は110億67百万円であった。

3 実質収支

収益的収支と資本的収支を合算し、これに繰越財源等を調整した実質収支については、前年度に比べ1億72百万円（9.8%）増加し、19億36百万円の黒字であった。一方、基準外繰入金を控除した場合の実質的な収支は6億44百万円の赤字であり、下水道事業29事業、宅地造成事業5事業、市場事業3事業、と畜場事業1事業及び観光施設事業1事業の計39事業が実質的な赤字を生じている。

第14表 法非適用企業の決算状況の推移

(単位：千円、%)

項目	H27	H28	H29	H30 (A)	R1 (B)	対前年度比較		
						B-A(C)	C/A	
収益的収支	総収益 (a)	35,168,913	36,100,538	35,480,162	28,131,526	21,014,338	▲ 7,117,188	▲ 25.3
	営業収益 (b)	18,853,078	20,081,154	19,761,771	15,127,559	10,820,745	▲ 4,306,814	▲ 28.5
	うち料金収入	16,847,412	18,063,606	17,448,065	13,181,459	9,277,153	▲ 3,904,306	▲ 29.6
	国庫県補助金	24,145	19,034	28,425	34,370	64,383	30,013	87.3
	他会計繰入金	16,920,015	16,952,457	16,891,322	14,512,611	11,290,637	▲ 3,221,974	▲ 22.2
	総費用 (c)	17,635,810	17,299,535	16,912,045	14,609,940	10,826,733	▲ 3,783,207	▲ 25.9
	営業費用	11,708,747	11,768,492	11,862,557	10,478,576	7,980,949	▲ 2,497,627	▲ 23.8
	うち職員給与費	1,202,457	1,275,820	1,229,000	1,094,500	893,951	▲ 200,549	▲ 18.3
	支払利息	5,783,243	5,358,076	4,871,679	3,880,590	2,667,905	▲ 1,212,685	▲ 31.3
	収支差引	17,533,103	18,801,003	18,568,117	13,521,586	10,187,605	▲ 3,333,981	▲ 24.7
資本的収支	資本的収入	18,641,794	18,343,503	16,894,138	14,972,200	10,766,858	▲ 4,205,342	▲ 28.1
	地方債	9,357,900	9,268,700	8,286,300	7,981,050	5,438,100	▲ 2,542,950	▲ 31.9
	国庫県補助金	4,348,066	4,257,965	3,462,250	3,016,047	2,249,007	▲ 767,040	▲ 25.4
	他会計繰入金	4,089,075	4,016,143	4,270,788	3,245,464	2,716,657	▲ 528,807	▲ 16.3
	資本的支出	33,705,599	38,451,894	34,995,842	28,474,414	20,225,769	▲ 8,248,645	▲ 29.0
	建設改良費	14,233,714	13,895,952	12,225,066	10,652,103	7,137,684	▲ 3,514,419	▲ 33.0
	地方債償還金 (d)	19,209,033	20,612,932	21,483,321	16,872,744	12,916,438	▲ 3,956,306	▲ 23.4
	収支差引	▲ 15,063,805	▲ 20,108,201	▲ 18,101,704	▲ 13,502,214	▲ 9,458,911	4,043,303	29.9
実質収支	4,906,201	1,920,477	2,101,182	1,763,709	1,935,776	172,067	9.8	
黒字	4,906,201	1,920,477	2,101,182	1,746,939	1,945,966	199,027	11.4	
赤字 (Δ) (e)	-	-	-	16,770	10,190	▲ 6,580	▲ 39.2	
収益的収支比率 (a)/(c)+(d)	95.5	95.2	92.4	89.4	88.5	▲ 0.9	-	
赤字比率 (e)/(b)	-	-	-	0.1	0.1	-	-	
総事業数	86	86	84	76	60	▲ 16	▲ 21.1	
収益的収支で赤字の事業数	3	3	3	3	4	1	33.3	
実質収支で赤字の事業数	-	-	-	1	1	-	-	

(注) 営業収益は、受託工事収益を除いたものである。

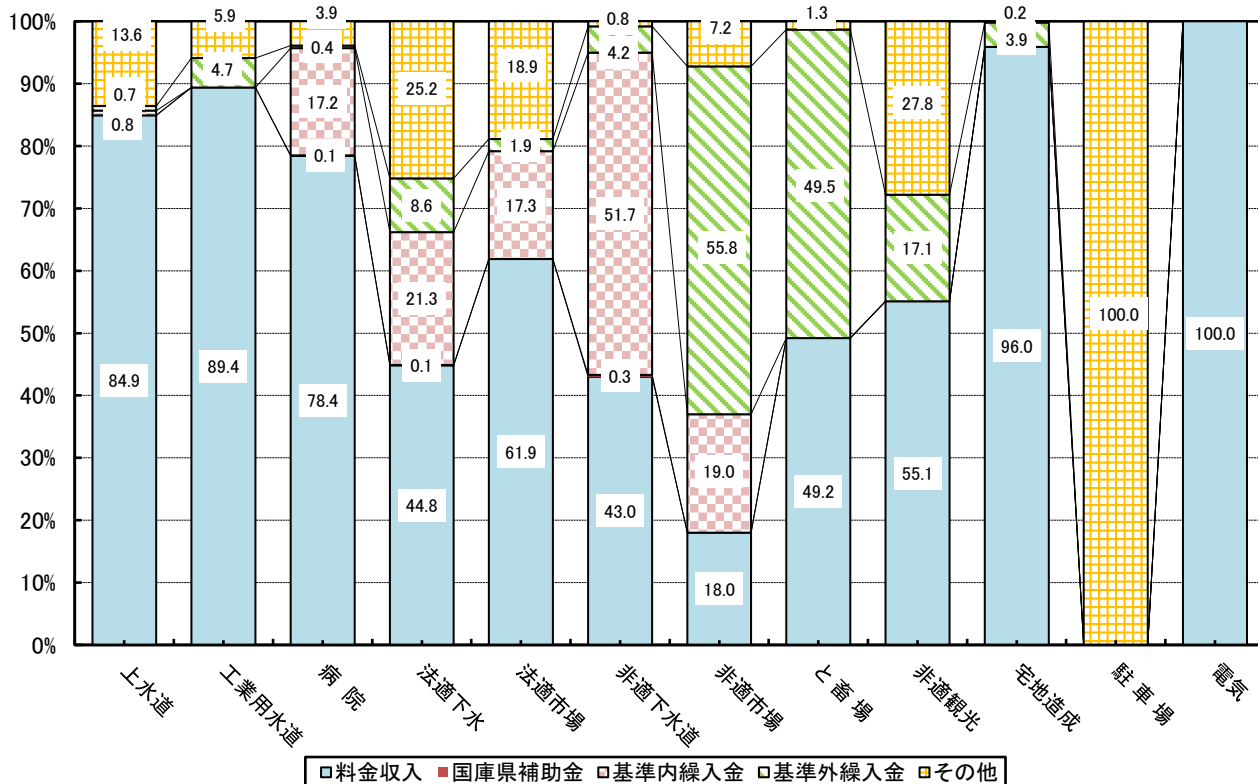
第15表 法非適用企業の事業別決算状況

(単位：千円、%)

項目	下水道	市場	と畜場	観光施設	宅地造成	駐車場	電気	合計
収益的								
総収益 (a)	19,956,684	50,274	61,998	310,900	445,505	133,099	55,878	21,014,338
営業収益 (b)	9,990,239	9,052	31,320	173,661	427,503	133,092	55,878	10,820,745
うち料金収入	8,582,833	9,052	30,487	171,400	427,503		55,878	9,277,153
国庫県補助金	64,383							64,383
他会計繰入金	11,152,135	37,618	30,675	52,999	17,210			11,290,637
収支								
総費用 (c)	10,210,049	48,216	87,945	284,050	42,995	102,153	51,325	10,826,733
営業費用	7,372,396	48,168	87,945	283,662	39,336	99,694	49,748	7,980,949
うち職員給与費	839,172		13,194	31,689	9,896			893,951
支払利息	2,663,810	48		388	3,659			2,667,905
収支差引	9,746,635	2,058	▲ 25,947	26,850	402,510	30,946	4,553	10,187,605
資本的								
資本的収入	9,609,122	29,226		2,875	1,125,624		11	10,766,858
地方債	4,818,200	28,100			591,800			5,438,100
国庫県補助金	2,247,431				1,576			2,249,007
他会計繰入金	2,183,285	1,126			532,246			2,716,657
資本的支出	18,780,117	29,322		14,311	1,366,223	35,785	11	20,225,769
建設改良費	6,012,110	28,196		7,428	1,077,612	12,338		7,137,684
地方債償還金 (d)	12,724,680	1,126		6,883	183,749			12,916,438
収支差引	▲ 9,170,995	▲ 96		▲ 11,436	▲ 240,599	▲ 35,785		▲ 9,458,911
実質収支	1,586,429	12,451		34,501	297,842		4,553	1,935,776
黒字	1,596,619	12,451		34,501	297,842		4,553	1,945,966
赤字 (△) (e)	10,190							10,190
収益的収支比率 (a)/(c)+(d)	87.0	101.9	70.5	106.9	196.5	130.3	108.9	88.5
赤字比率 (e)/(b)	0.1							0.1
総事業数	42	4	1	3	8	1	1	60
収益的収支で赤字の事業数		1	1	1	1			4
実質収支で赤字の事業数	1							1
基準外他会計繰入金(収益的)	843,037	28,071	30,675	52,999	17,210			971,992
基準外他会計繰入金(資本的)	1,074,855	563			532,246			1,607,664
基準外他会計繰入金(計)	1,917,892	28,634	30,675	52,999	549,456			2,579,656
控除後の収益的収支	8,903,598	▲ 26,013	▲ 56,622	▲ 26,149	385,300	30,946	4,553	9,215,613
控除後の資本的収支	▲ 10,245,850	▲ 659		▲ 11,436	▲ 772,845	▲ 35,785		▲ 11,066,575
控除後の実質収支	▲ 331,463	▲ 16,183	▲ 30,675	▲ 18,498	▲ 251,614		4,553	▲ 643,880

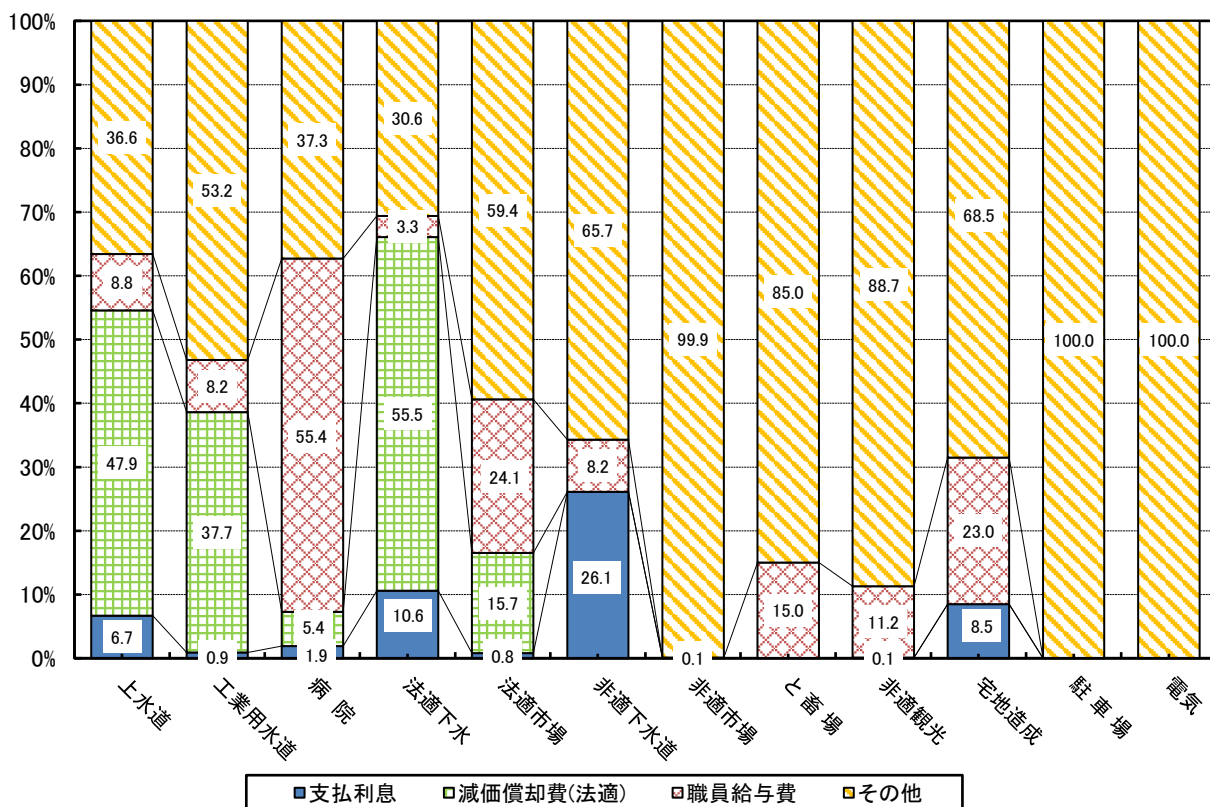
(注) 営業収益は、受託工事収益を除いたものである。

第10図 収益的収入の構成割合



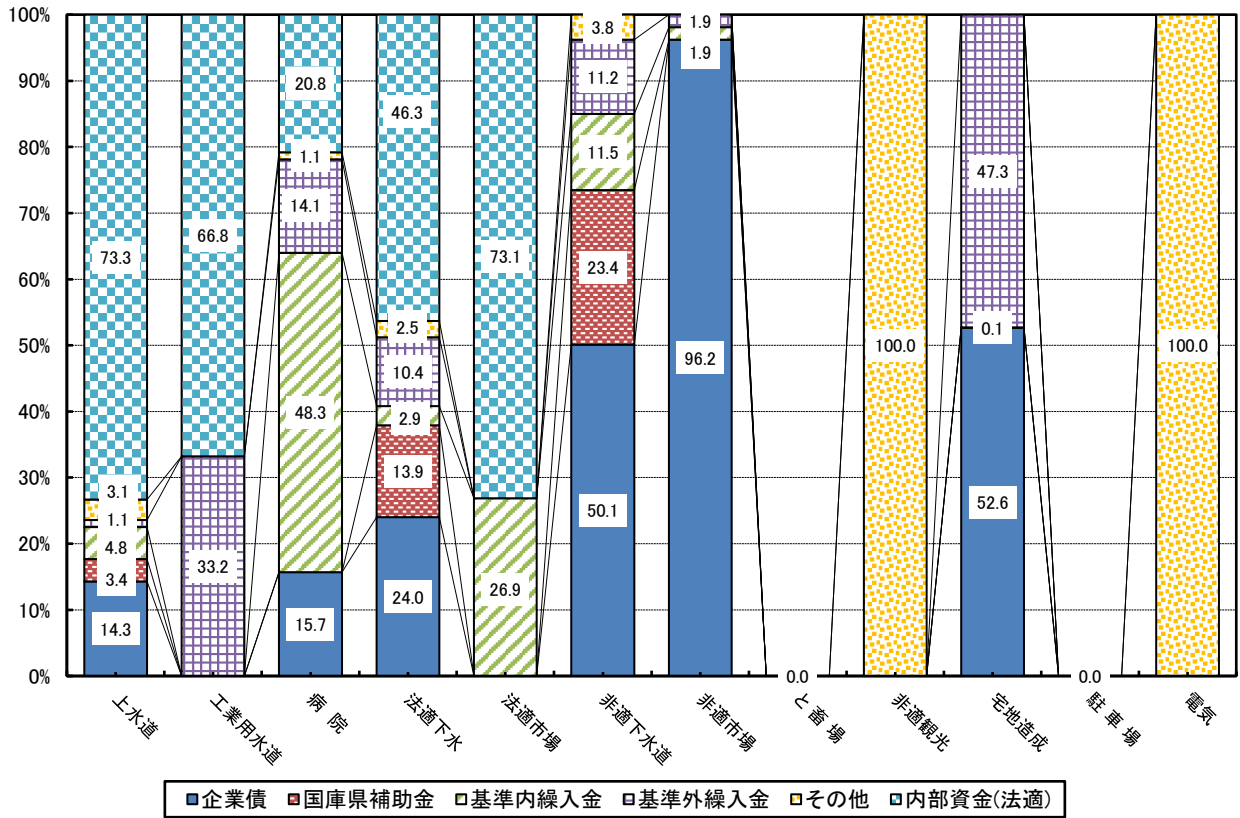
(注) 法適用企業の収益的収入は経常収益、法非適用企業の収益的収入は総収益とした。

第11図 収益的支出の構成割合



(注) 法適用企業の収益的支出は経常費用、法非適用企業の収益的支出は総支出とした。

第12図 資本的収入の構成割合



第13図 資本的支出の構成割合

